



しみんてい広房 身近な「はてな？」を入口にして“科学する心”を育む

はてな？のようちえん

これまでの報告と、これからについて

「はてな？」って、とってもおもしろい言葉です。ちょっと立ち止まって、首をかしげて。そんな様子が見えます。この「はてな？」「なんでだろう？」「もしかしたら…」「どうすれば…」。そんなふうを考えるきっかけになります。

だから「はてな？」を大切にすることで子どもの「科学する心」が育っていくんじゃないかなあ…そんな思いで実施しています。

第一回は「みちくさはくぶつかん」。道端を生きた博物館に見立ててみよう。草や虫の価値がアップ、なんだかとっても生き生きと見えてきます。

第二回「あらってほして、あわあわわ」は、毎日毎日お家でしている洗濯がテーマ。洗濯だって科学の切り口で観察できちゃいます。最後はもちろん、シャボン玉あそび！

第三回は「つちのいろ いろいろ」毎日毎日踏みしめているこの土は、なにからできているんだろう？土の色にはいろいろあるって知ってた？せっかくだから、絵具にしちゃおうか！

子どもの目で見つめると、当たり前に見ているできごととも新鮮に映ります。大人にとってもとても楽しいひと時です。



「はてな？のようちえん」は、あと2回あります。

- ・ 12月24日「ひかりとあかりとくらがり」と
 - ・ 3月19日「へんし〜ん！だいず」
- どうぞお楽しみに！

お申込み受け付けています！
ぜひ一緒に楽しみましょう！

(記：りとらば 吉橋久美子)

犬山子ども大学 「冒険教室～上級コース～」

指導員：冒険教室 古澤法之

このコースには、何かと危険が付きまとうので、身の回りのことは自分でできる人の参加が望まれるのですが、食器も洗ったことがない、自分の持ち物がわからない、大事な話すら静かに聞けないとか、最低限のことすらできない子どもの参加が、年々増えているのがとても気になります。

「上級」という言葉が付いている以上、参加する側も心して臨んで頂きたいのです。とはいえ、入ってしまえば付いてくるしかなく、体力も精神力も上の子達に引っ張られなが

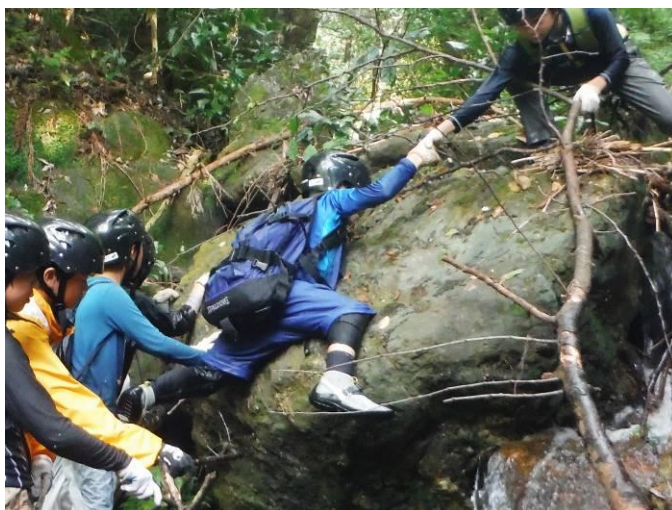


ら、皆たくましく成長しています。8月には段ボールで船を造り、川を渡るチャレンジをしましたが、初日にやった個人戦は全滅。2日目のグループ戦で成功できたのは、物静かな3人組1チームのみ。濡れた段ボールを持ち帰りたくはないため皆、必死に火で乾かしながら夜通し燃やしました。失敗することこそが楽しい合宿でした。9月のチャレンジはシャワークライミング（沢登り）。決して暖かくはない日、しかも強力なリーダー不在での挑戦でしたが、それがかえって良かったのかもしれませんが、3m程の砂防ダムを、男子が女子を肩に乗せて登らせ、登った女子がロープを木に縛って垂らし、後続はそのロープを頼りに登るという見事な連携が構築できました。ずぶ濡れになって遡った川は頂上付近で消えましたが、山頂から見た景色は何物にも代え難い美しさと達成感を与えてくれました。

ら、皆たくましく成長しています。

8月には段ボールで船を造り、川を渡るチャレンジをしましたが、初日にやった個人戦は全滅。2日目のグループ戦で成功できたのは、物静かな3人組1チームのみ。濡れた段ボールを持ち帰りたくはないため皆、必死に火で乾かしながら夜通し燃やしました。失敗することこそが楽しい合宿でした。

9月のチャレンジはシャワークライミング



秋冬はトレッキングや耐寒キャンプが待っています。さらなる高みを目指しましょう。

子ども大学 「やさしい 絵画教室」

指導員：犬山絵画教室 岩田義一



現在 22 名の 1 年生から 6 年生まで、生徒全員が 1 時間 30 分程の時間、一生懸命に課題に取り組んで描いています。

最初の頃は緊張して泣き出す子もいて、どうなることかと思いましたが最初の 1 日だけで、今では慣れてきたのかざわつく事もありません絵に集中させるために、時々注意する事もありますがおおむねみんな楽しく頑張っています。

絵が本当に好きで描き出したら夢中になって何時間でも描いていられる子もいますが、そういった子は稀で多くの子どもはせいぜい 1 時間

が集中できる限度で、それを過ぎると落ち着きがなくなるのが普通です。今の教室でも集中できる子は数人でこれは年齢に関係なく絵だけでなく何の習い事もそうだと思いますが、集中できる子の邪魔にならないよう指導するのは何時も苦労するところです。

いつも子どもを教える時は、緊張と緩和を考えて子どもの内面を最大に引き出す事を大切にしていますが、子どもを育てている環境と性格は不思議な程絵に現れます。

乳幼児期から幼児期は特に大切な時期で、親の何気ない会話や行動で純真な子どもの内面を傷つけている事があります。それを子どもは無意識に抑えて心に仕舞い込んでいる事があります。



そして、小学校に入り集団生活の中でその子の我慢のできない色々な思いが行動に出たり、絵の中に表現されるようになるのです。

そういう意味で子どもにもっと絵を描かせて内面の鬱憤を吐き出させることは、その子にとっては大変必要な事と思います。

また、その絵に現れている子どもの信号を読み取れるような大人の目が必要だと思います。これからも指導していく為に子どもの絵を見てゆきたいと思います。



助 成 金 情 報

あいちモリコロ基金 平成 28 年度活動の募集案内

■募集内容

①初期活動（前期募集）

活動開始後5年以内の団体等の活動

●助成率：10／10

●助成額：30万円

②展開期活動

一般社会貢献活動（行政、企業又は他のセクターとの協働を含む）

●助成率：8／10

●助成額：100万円

③大規模活動

十分な事業経験や知識等があると認められる団体等が行う大規模な活動

●助成率：8／10

●助成額：500万円

■募集期間

10月1日（木）～10月31日（土）

※平成27年10月31日消印有効

■専用相談窓口

「あいちモリコロ基金相談コーナー」

募集期間中、あいちNPO交流プラザ（ウィル
あいち2階）内に開設 ※日・祝月は休み

TEL：052-971-7770

FAX：052-971-7789

E-mail：office@morikorokikin.jp

平成 28 年度年賀寄附金 配分団体の公募

■配分事業分野

配分事業は、次の6つの分野とします。

ア 一般枠

（ア）活動・一般プログラム

（イ）活動・チャレンジプログラム

（ウ）施設改修

（エ）機器購入

（オ）車両購入

イ 特別枠

東日本大震災の被災者救助・予防（復興）

■申請金額

申請金額の上限は、1件当たり500万円とし、
活動・チャレンジプログラムについてのみ
50万円とします。

■配分申請の受付期間

9月14日（月）～11月13日（金）

（当日消印有効）

■お問い合わせ先

日本郵便株式会社 総務部 環境・社会貢献室

電話：03-3504-4401（直通）

HP：www.post.japanpost.jp/notification/pressrelease/2015/00_honsha/0831_01.html

独立行政法人

国立青少年教育振興機構

平成28年度子どもゆめ基金 募集案内

■申請期間

①郵送申請：10月5日～11月24日

②電子申請：10月5日～12月1日

■助成の対象となる活動

(1) 子どもを対象とする体験活動や読書活動

◆体験活動 ①自然体験活動 ②科学体験活動

③交流を目的とする活動 ④社会奉仕体験活動

⑤職場体験活動 ⑥その他の体験活動

◆読書活動

(2) 子どもを対象とする体験活動や読書活動を
支援する活動

◆フォーラム等普及活動 ◆指導者養成

■助成金の額

標準額（目安）は、1活動あたりの助成金の額は、
全国規模は300万円、都道府県規模は100万円、
市区町村規模は50万円

■お問い合わせ先

子どもゆめ基金部助成課

TEL：0120-579081（平日9:00～17:45）

E-mail：yume@niye.go.jp

